



ご支援、ありがとうございました



～ 郡山市立赤木小学校一同 ～

担当 SI 郡山：17 万  
**郡山市立小泉小学校** 校長 山本浩先生：校舎 1 階が床上浸水。グラウンドも泥に埋まりました。温かいご支援ありがとうございます。



担当 SI 郡山：10 万 (2020 年 1 月 14 日贈呈)  
**郡山市立赤木小学校** 校長 鈴木久先生：2m 浸水し児童は、4 つの学校に移転しての授業でした。  
 児童：「みなさんの温かい応援、支えがあったからこそ励まされがんばれたと思います。」



担当北リジョン理事会：20 万円  
**日本大学東北高等学校** 校長 佐々木稔先生：会員の皆様の温かなお気持ちとご支援に心より感謝申し上げます。  
 生徒会長 村松龍之介さん「今後生徒のために寄付金を使いたい」と、学校を代表して受け取りました。

担当北リジョン理事会：20 万  
**帝京安積高等学校** 校長栗原暁先生：この度の浄財のお心遣いに救われる思いがいたしました。  
 生徒会長 大竹美緒さん「学校の再建活動のために力を注いで行く所存です。生徒一同深く感謝しています」

SI 奈良-まほろば災害救援金：161,481 円 担当北リジョン理事会：18 万  
**郡山市立永盛小学校** 校長松本修先生：水害の恐ろしさや大変さを、身をもって実感しましたが、皆様にお世話になり大きな支えになりました。  
 児童：「応援してくれる人がいるんだな。よし私も頑張ろうと、明るい気持ちになり、前を向くことができました。永盛小学校がもっと輝くよう頑張ります。」



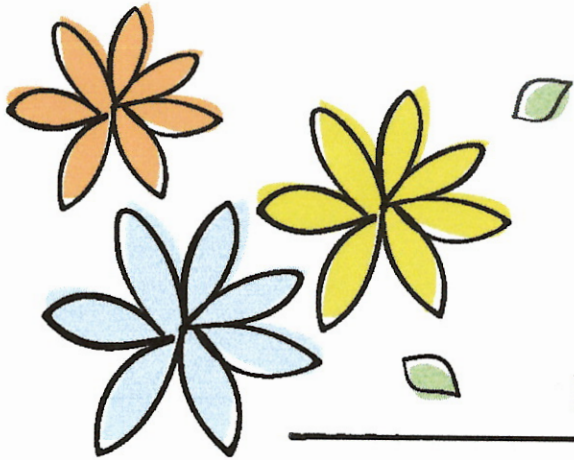
## 福島県 郡山市立小泉小学校











国際ソロプチミスト アメリカ日本北リジョン

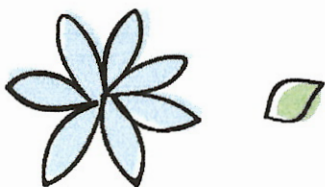
ガバナー 今 千尋 様

## ありがとうございました。

私たちのために、たくさんの支援をありがとうございました。  
台風の被害にあい、一度は、バラバラになっ  
てしまい、一人になった気持ちで心細くなりました。

そんな中でたくさんの支援を頂いて、「応援してくれる人が  
いるんだな」「よし、私もがんばらないと」と明るい気持ちに  
なり前を向くことができました。今は、学校にもどり、楽  
しくにぎやかに活動しています。これからもっと永盛小学  
校が輝くようにがんばります。

永盛小学校 児童会より



# 福島県 郡山市立永盛小学校

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン

ガバナー 今 千尋 様

御 礼

陽春の頃、皆様におかれましては、ますますご清祥にてお過ごしのことと存じます。

さて、昨年10月の台風19号による浸水により、本校は多大なる被害を受け、近隣の4校に分散して授業を行うなど今ある環境の中で学校を運営し、校舎や廃棄物品等の復旧に向けては、郡山市をはじめとする関係機関の支援を受け改修工事を進めて参りました。

お陰様で、昨年の12月23日には3年生以上と特別支援学級が、2月17日からは残りの1・2年生が本校に戻ることができ、昨年の10月11日以来、久しぶりに全校生290名が揃い、永盛小学校での学校生活を再開することができました。

今回私たちは、水害の恐ろしさや大変さを身をもって実感することになりましたが、たくさんの方々にお世話になり、人の優しさに触れることもでき、それが私たちの大きな支えになっていました。

本校は、まだ一部工事が残っており、完全復旧はもう少し先となりますが、皆様からのご厚意を活用させていただき、本校の子どもたちが元気に、そして今回の被害に負けない逞しさを身につけていけるよう、今後も精一杯の取り組みを推進していく所存です。

簡単ではありますが、永盛小学校を代表しまして皆様方への御礼と感謝の気持ちをお伝えしたいと存じます。

誠にありがとうございました。

同封しました児童からの感謝の言葉もお受け取りいただければ幸いです。

令和2年 4月吉日

福島県郡山市立永盛小学校長 松 本 修



ご支援、ありがとうございました



～ 郡山市立赤木小学校一同 ～





拝啓

大寒の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日の赤木小学校水害の際には、私たちのことを心より心配して下さい、心温まるお見舞いを頂き誠にありがとうございました。

水害当時、赤木小学校は、1階が完全に水ぼつてしまい、1階の机やイスが流されたり、体育館にあったグラントピアノが流されたりしました。水が引いても校舎を使うことができない状態でした。そのため、赤木小学校の子どもたちは、近くの4つの小中学校に分かれ、それぞれの場所で学習してきました。一体、私たちはどうなってしまうのだろう？そんな不安が頭から離れませんでした。

「ピンチをチャンスに！」

私たちは、この言葉を「合い言葉」として、赤木小学校の子どもらしく、一人一人が赤木プライドをもってがんばってきました。今までの生活とは異なる2ヶ月間、私たちは様々な方々に励まされ、支えられていることを実感しました。みなさんの温かい応援、支えがあったからこそがんばれたと思います。

みなさんのおかげで12月後半から、私の大好きな赤木

以下略



令和2年2月吉日

関係各位

郡山市立赤木小学校長 鈴木 久



## 郡山市立赤木小学校 台風19号による被災に 対するご協力への御礼

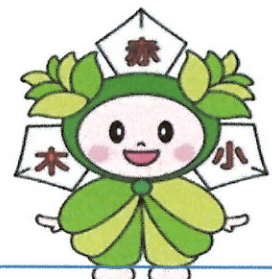
寒冷の候、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
皆様方には、昨年の台風19号で大きな被害を受けた赤木小学校をご心配いただき、  
誠にありがとうございました。

1階部分が約2メートル浸水し、校舎が使用できなくなってしまった赤木小学校は、  
10月23日より約2か月間、近隣の四つの学校に移転して授業を実施してまいりま  
した。しかし、市当局や市教育委員会をはじめとする各関係機関のご尽力により、1  
2月23日（月）から、校舎の2・3階を使用して授業を再開することができるよう  
になりました。

皆様方には、慣れない環境の中で赤木小学校の子どもたちが健康で安全に過ごせる  
ように、また、一日でも早く赤木小学校での授業が再開できるようにと、さまざまな  
形でのご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今回の経験で、子ども  
たちは、自分たちを心配し、応援してくれる大勢の人たちがいることを実感すること  
ができました。赤木小学校に戻ってからも、感謝の気持ちを忘れず、これまで以上に  
勉強や運動に取り組めるよう励ましていきたいと思います。今後とも赤木小学校の子  
どもたちをあたたかく見守っていただければ幸いです。

皆様方にいただいたご厚情に改めて感謝申し上げますととも  
に、皆様方のますますのご発展をご祈念申し上げ、御礼のご挨拶  
とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



赤木小のマスコットキャラクター  
「あかりん」



台風19号がもたらした水害に際し、ご厚志、ご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。  
10月12日未明、阿武隈川越水。本校は、成人男性の胸元あたりまで冠水しました。校舎1階にある事務室・職員室・情報処理室・多目的ホールなど多くの施設が使用不能となり、特にショートと思われる電源喪失は、復旧作業の大きな妨げになりました。唯一の救いは、2階以上に設置されている生徒の教室が無傷だったことですが、授業を再開するにあたり大量に出た廃棄物の処理、校舎内の洗浄、消毒。また、水没した教科書や教材、コンピュータ、印刷機、コピー機など、授業には欠かせない物品を早急に準備する必要がありました。

当時、大切な大会が迫る部活動も多く、あちらこちらの練習場所を借りながら活動しましたが、今度は、新型コロナウイルスの発生で、休校・部活動禁止措置になりました。水害により多くの物品を失い、特に部活動においては練習道具のほとんどが使用不可能になりました。練習場所を借りるにも費用がかかり、突然の休校措置に、そのキャンセル料も支払わなければいけません。

台風被害以来、二重三重の難問が突き付けられましたが、この度の浄財のお心遣いに救われる思いがいたしました。現在では、正常な授業が展開できることを大変うれしく思っております。いただきました浄財は、生徒会顧問とも相談した結果、各部活動の補助金として使用させていただくことにしました。生徒が明るく元気に活動できるよう有効活用させていただきます。

末筆ではございますが、本来であればお伺いし、直接お礼を述べるところでございますが、まことに失礼ではあります。書面でもってお礼にかえさせていただきます。貴団体のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和2年4月15日

帝京安積高等学校

校長 栗原 暁

御礼

この度は、過分なるご寄付をいただきまして、誠にありがとうございます。

学校のいち早い再建活動のために、力を注いでいく所存でございます。生徒一同、深く感謝しております。略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

帝京安積高等学校

生徒会長 大竹 美緒



国際ソロプチミストアメリカ 日本北リジョン  
ガバナー 今 千尋 様

日本大学東北高等学校 校 長 佐々木 稔

謹啓

春暖の候、今千尋様はじめ国際ソロプチミストの皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのことと存じ、お慶び申し上げます。また、日頃より連盟の使命感あふれるご活動に心からの敬意を表する次第でございます。

さて、この度は「台風19号災害学生支援プロジェクト」により、多大なるご寄付を賜りまして、まことに有難うございました。その温かいご支援に対し、学校を代表して厚く御礼申し上げます。

昨年10月の水害では、校舎が床上浸水し、生徒個人の持ち物のほか、吹奏楽部の楽器が使えなくなるなど、学校生活にも大きなダメージを受けました。

この度の支援金に託された思いをしっかりと受け止め、水害で使用できなくなった備品の購入など、有効にこれ使わせていただきたく存じます。

今後は、ご支援をいただいた学校として、誠心誠意学校運営に邁進してまいりますとともに、思いやりのある学生の育成に努力する所存でございます。

国際ソロプチミストの皆様ご健康とご多幸、貴連盟のさらなるご発展をお祈りいたします。このたびは、まことにありがとうございました。

謹白

国際ソロプチミストアメリカ 日本北リジョン  
ガバナー 今 千尋 様

日本大学東北高等学校 第70次生徒会長 村松 龍之介

いつしか葉桜の季節となりました。国際ソロプチミストのみなさまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

先日は「台風19号災害学生支援プロジェクト」により、本校に多大なご寄付をいただき、本当にありがとうございました。生徒を代表し、厚く御礼申し上げます。

昨年10月、本州に上陸した台風19号により、本校は多大な被害を受けました。体育館が床上浸水し、完成したばかりの人工芝グラウンドも人工芝がはがれ、使用できなくなりました。部室棟も床上浸水し、部活動関係物品も使えなくなりました。学校生活においても、約1週間の休校を余儀なくされました。

今回の支援金では、被害にあった物品の購入を行い、より良い学校生活の一助にしたいと考えております。

このたびは、心の温まるご支援をいただき、本当に感謝しております。このご厚意を胸に刻み、残りの学校生活をより一層頑張りたいと思います。

謹白